

さぽせんニューズレター

2008 年冬号 Vol.22 <http://business2.plala.or.jp/support/>



11 月 28 日(金) ぱりあふりーカフェ同窓会 市役所 1 階 Cafe. COMにて開催

◆市民活動フォーラム2009	2
◆自由人・出前カフェ／団体交流・懇談 市民活動カフェ	2
◆NPO 実践講座「行列のできる講座・極意を学ぶ」	3
◆NPO ジャスコ展	3
◆サポートセンター利用満足度アンケート	3
◆協働実務者連絡会	4
◆協働推進事業公開説明会	4
◆サポートセンターの指定管理者候補者の選定結果について	4

障がい者があたりまえに働ける茅ヶ崎に！

ぱりあふりーカフェ同窓会 カフェおひさしぶり



今年7月、市民活動サポートセンターで開かれた市民活動カフェ9「ぱりあふりーカフェ」では、“街のなかで普通に暮らす 障がいがあっても 楽しくつながり 働きたい”をテーマに、障がいのある人が働く上での苦労や喜びを語り合い、和やかに交流を深めることができました。

「もっと話し合う時間が欲しかった。働きたいのにその場所が少ない。障がいに対する理解がまだない。このような機会は健常者にとって必要だと思った。」などの声をいただき「ぱりあふりーカフェ同窓会」を開催しました。会場となった夜のCafe. COM(カフェドットコム)には約 50 名が集い、普段は出合えない人と歓談を楽しみ、再会を喜び、「障がい者の居場所とあたりまえに働ける場をつくろう、応援しよう」の熱気に包まれました。

市民活動フォーラム 2009

1 月 17 日 (土) 開催

13:00~16:30

1 月の開催に向けて 11 月 4 日に市民活動フォーラム実行委員会が発足しました。今年度のテーマは、「**話してみよう カタチいろいろ 若い世代のまちづくり** “始めてみる楽しさ～しゃべり場”」です。先に行った市民活動団体アンケートによると構成メンバーの平均年齢は 60 代。現在活動中の市民団体は「若い活動家とのジョイント」をどうしたらいいか悩んでいます。

若い世代が今、何に興味を持ち、どんなことを実践し、将来はどんなことをしたいかなどなど具体的な活動を通じて話し合い、互いを知り、世代をこえたジョイントが生まれることを期待して準備を進めています。

フォーラムの第一部では「茅ヶ崎市民活動げんき基金説明会」が行われ、小学生木工教室も同時開催します。詳しい内容は広報ちがさき 1 月 1 日号をご覧ください。



フォーラム実行委員会

見て、感じて、語らって 自由人・出前カフェ

2 回にわたり市のマイクロバスを利用し、茅ヶ崎の北部、南部を巡りました。活動団体の現場に出向き活動状況の詳細に触れ、理解を深め貴重な体験をしました。

茅ヶ崎発見 エコ ツアー カフェ 10

8 月 25 日(月) 参加者 20 名

参加者の声: ゴミの少量化を心がけ、茅ヶ崎の自然を守ることの大切さを学び、福祉車両の存在を知りました。

ご協力: 萩園ケアセンター/
環境事業センター/(株)オーテック
ジャパン/県立茅ヶ崎里山公園
谷の家/野田晴美さん(湘南谷戸
の会)/冒険あそび場をつくろう会/
清水谷を愛する会/最終処分場



里山公園 谷の家で森が
出来るまでのお話

まち環再発見 シーサイドツアー カフェ 12

10 月 17 日(金) 参加者 20 名

参加者の声: 初めての施設に行けて同世代と話ができて、幸せは多くの出会いから増えていくことを再発見しました。



ヘッドランドにて海岸清掃

ご協力: TOTO 茅ヶ崎工場 R &
D センター/相模川流域下水道
柳島管理センター/茅ヶ崎郷土
会/茅ヶ崎太陽の郷/(財)かなが
わ海岸美化財団/石川真紀さん
(ほのぼのビーチ茅ヶ崎)

団体交流・懇談 市民活動カフェ

ゲストの話をきっかけにお茶を飲みながら気軽に交流・懇談ができる「市民活動カフェ」を奇数月に 3 回にわたり行いました。いずれも喫茶「凡樹瑠」のコーヒーと翔の会「ブルーベリー」のクッキーが提供されました。

みんなで進める エコライフ カフェ 11

9 月 27 日(土) 参加者 41 名

エコを実践している 8 名の方々

- ◆梅田中学校生徒会 エコ
キャップ回収運動
- ◆商連サイクルライフ研究委員会 環境にやさしい自転車のまち◆エコ自慢大賞受賞者 次世代へつなげる ECO
- ◆文教大学エコキャンパス 「食」をテーマに地域活性化
- ◆エコな暮らし実践家 光熱水費を月 1 万円で暮す方法
- ◆ちがさき自然エネルギーネットワーク 地域温暖化防止など
- ◆茅ヶ崎 C-リングクラブ 自治会や作業所の連携で廃油回収
- ◆茅ヶ崎市環境政策課 みんなで取組む省エネビジョン



グループミーティングの
中学生による発表

若い世代 夢がカタチに 輝いて カフェ 13

11 月 22 日(土) 参加者 34 名

やってみて無駄
なことは何もない!



「楽しい」がキーワード 6 名の若い世代の方々

- ◆西浜高校・青少年赤十字 ボランティア活動の紹介
- ◆NPO 法人セカンドブックアーチ 本の回収益を福祉活動に
- ◆茅ヶ崎ラグビースクール子どもたちの強くやさしい心づくり
- ◆NPO 法人 e-Drive 街の中にアカデミックさを
- ◆NPO 法人湘南スタイル 農業ポータルサイトで地域活性化
- ◆ビーサン協会 海を愛する人々のビーサン跳ばし



NPO 実践講座

行列のできる講座・極意を学ぶ

9月21日(日)参加者 76名

今年の NPO 実践講座は「行列のできる講座」で注目のNPO法人エセナおおた理事長牟田静香さんをお招きし、市民文化会館にて開催しました。人が来ない原因は「企画力」と「広報・PR力」が不足しているだけ、新規顧客を増やしリピーターのリピート率を増やすことが大切と言い切る牟田さんの言葉に、参加者の期待感と集中力は高まり、ワークショップ「チラシで予想！応募者クイズ」を交えながら、あっという間の3時間でした。

「行列のできる講座」「企画力」と「広報力」向上のために、できることは

- ①ニーズをつかむ努力 ②新聞で時代を読む、ターゲットが読む雑誌の企画内容をリサーチ ③参加動機をリサーチ、アンケート結果を分析
- ④人気のテレビ番組、流行の歌の歌詞、ターゲットの会話をチェック
- ⑤ターゲットに響く言葉を探る努力(電車の中刷り、街の看板、ラジオなど)
- ⑥ロコミ・ネットコミの利用 ⑦既存の広報ルート以外の広報手段さがし
- ⑧積極的にいろんな講座や研修に参加(講師選び、仲間づくり)



講座に人が集まるようにするには、まず企画ありきでターゲットを徹底的に絞る、ターゲットの心に響くタイトルをつける、そしてもっとも大切なことは、担当者の熱意と努力だということです。参加者アンケート回収率 89%、満足度は 100%でした。

NPOジャスコ展

11月1日(土)~3日(月)、12月6日(土)~7日(日)

◆参加団体数35団体 来場者数延べ 200名◆

自主的、自発的な活動をもっと身近に感じていただけるように、ジャスコ茅ヶ崎店のご協力によりパネル展を開催しました。

個性豊かな団体パネルの前で説明に聞き入る姿や団体の活動に共鳴して名刺交換をする光景もみられました。

ジャスコでの展示は初めての試みでしたが、参加団体のみなさまのご協力により和やかな雰囲気の中で終えることができました。

なお、毎月11日にジャスコで発行されている黄色いレシートを応援したい団体名の専用ボックスに入れると、買い物金額の1%分の物品が地域のボランティア団体に寄贈されます。



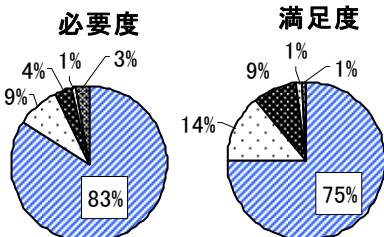
茅ヶ崎店の黄色レシート登録は 39 団体

茅ヶ崎市民活動サポートセンター利用満足度に関するアンケート

ご協力いただきありがとうございました。

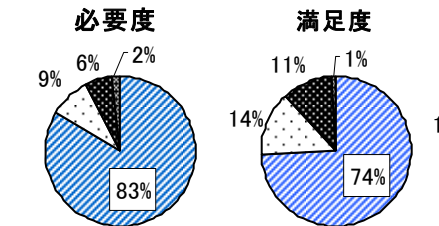
◆印刷機の利用

(黒と青・緑・茶の 2 色刷・パソコン接続印刷可、500 枚まで1製版 100 円)



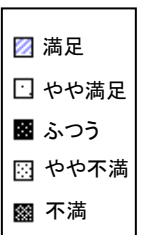
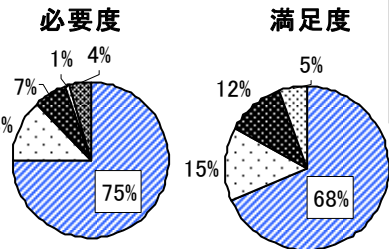
◆コピー機の利用

(400%まで拡大・両面・手差し・連写可、カラーA4・B4=40 円・A3=60 円・白黒=10 円)



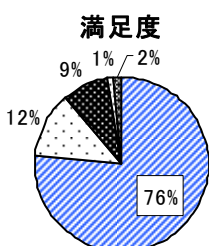
◆紙折り機の利用

(4つ折まで対応 無料)

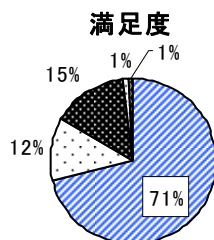


◆窓口スタッフの対応

(来館時の印象・情報提供など)



◆ご相談にする対応



アンケート回答団体数: 120 団体
回答者数: 150 名
<実施期間>
2008 年 9 月 18 日
~ 9 月 30 日

♡♡お知らせ♡♡

2008 年度ちがさき市民活動団体ガイドブック まもなく発行!

これから市民活動やボランティアを始める方にもお役にたつ「ボランティア募集」を掲載しました。

協働実務者連絡会

9月18日(木) 参加者 19名

行政提案型や市民(NPO)提案型の協働推進事業を実施しているNPOが、協働推進事業の体験情報を持ち寄って共有し、それぞれの協働事業の円滑な推進に役立てようと企画しました。役割分担のあり方やパートナーシップ、協働事業予算計上の課題や問題点などを話し合える機会となりました。

●アートケアひろば ●「山田耕柞」と「赤とんぼ」を愛する会 ●香川防犯ボランティア隊 ●茅ヶ崎に冒険あそび場をつくろう会 ●茅ヶ崎市国際交流協会 ●NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマン ●NPO法人湘南スタイル ●NPO法人湘南フードリサイクル ●NPO法人NPOサポートちがさき ●市民活動推進課



平成 21 年度実施の協働推進事業公開説明会が 11 月 29 日に開催されました。採否公表は 12 月下旬の予定です。

■行政提案型協働推進事業 * 概算事業費は公募時に市が設定した上限額

事業テーマ	提案団体	概算事業費
新たな自治に向けての協働PR大作戦 (協働まちづくり普及啓発事業)	NPO法人 e-Drive	1,698,000
高齢者の生きがいづくり事業 童謡唱歌教室	「山田耕柞」と「赤とんぼ」を愛する会	200,000
アートペイントによる落書きの抑制	NPO法人湘南スタイル	1,540,000

■市民提案型協働推進事業 (公募事業枠) * いずれも応募時点での団体が希望する額

事業テーマ	提案団体	総事業額	市負担額
「健康麻将初心者教室」と「健康麻将出前サロン」	湘南健康麻将クラブ	655,000	295,000
北部いいとこ発見 PROJECT～8 自治区彼岸花からのまちおこし～	せりざわ彼岸花の会	2,996,000	1,904,000
市民立太陽光発電所の設置に伴う、自然エネルギー導入促進と省エネルギー普及啓発事業	ちがさき自然エネルギーネットワーク(REN)	1,838,000	1,644,000

■市民提案型協働推進事業 (継続事業枠) * いずれも応募時点での団体が希望する額

事業テーマ	提案団体	総事業額	市負担額
英字新聞チガサキブリーズ(茅ヶ崎のそよ風)の発行	茅ヶ崎市国際交流協会	788,000	750,000
茅ヶ崎市民のための市民による成年後見支援センター事業	NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマン	4,210,000	3,880,000
茅ヶ崎市農業ポータルサイト事業	NPO法人湘南スタイル	2,516,000	2,400,000
市内小学校の食品廃棄物を再生処理し、食資源循環の構築に向けた取り組み	NPO法人湘南フードリサイクル	1,960,000	1,880,000
茅ヶ崎の歴史的、文化的資源等の保存と活用の仕組みの構築	茅ヶ崎の文化景観を育む会	850,000	800,000

茅ヶ崎市民活動サポートセンターの指定管理者の候補者の選定結果について

2009 年(平成 21 年)4 月 1 日から 2013 年(平成 25 年)3 月 31 日まで、茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理を行う指定管理者の募集が行われ、当法人が指定管理者候補者となりました。指定期間の 4 年間は市より支払われる指定管理料(71,177 千円以下)をもって運営することになります。指定管理者の選定にあたっては、1 団体のみの応募であったため第一次審査は行われず、指定管理者選定等委員会による書類審査とヒアリング審査が非公開で行われました。選定基準は、1. 平等な利用の確保、2. 経費の縮減、3. 適正かつ確実な管理ができる人的・物的能力の 3 項目です。今後、指定管理者候補者は市議会(平成 20 年第 4 回定例会)の総務常任委員会に付託され、12 月 18 日の本会議最終日の議決を経て、指定管理者として指定されます。なお選定の経緯は市ホームページでご覧になれます。

<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/main.html>